

■植物園案内■

●植物園案内

植物研究室の学芸員が長居植物園を案内し、その季節の植物の説明と観察を手引きします。

日時:毎月第1土曜日 午後2時30分～4時
集合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参加費:無料(植物園入園料必要)
お問合せ:植物研究室
お申込み:不要

●植物園案内・動物編(7月) 「身近な鳥の子どもをさがそう」

鳥たちの繁殖期もそろそろ終わり。巣立ったヒナたちが、親といっしょに家族で行動している季節です。スズメやムクドリ、カラスなどの子どもたちを観察してみましょう。

日時:7月27日(土) 午前10時～12時 雨天中止
集合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参加費:無料(植物園入園料必要)
お問合せ:動物研究室 和田
お申込み:不要

●植物園案内・昆虫編(8月)「夏の虫さがし」

夏の植物園を歩きながらトンボ、チョウ、セミ、ハチなどの昆虫を探してみましょう。

日時:8月24日(土) 午前10時～12時 雨天中止
集合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参加費:無料(植物園入園料必要)
お問合せ:昆虫研究室 松本
お申込み:不要

●植物園案内・動物編(9月) 「秋の渡りの小鳥さがし」

秋の渡りの途中に立ち寄ったオオルリやキビタキ、センダングサなどの小鳥を探します。

日時:9月28日(土) 午前10時～12時 雨天中止
集合:自然史博物館 玄関前ポーチ
参加費:無料(植物園入園料必要)
お問合せ:動物研究室 和田
お申込み:不要

■特別関連イベント■

●リレー講演会「私の昆虫」

“私の昆虫”をテーマに、監修者らよる講演会を行います。

日時:7月13日(土) 午後2時～3時30分頃
場所:自然史博物館 講堂
講演者:神保宇嗣、井手竜也(国立科学博物館)
丸山宗利(九州大学総合研究博物館)
松本吏樹郎(大阪市立自然史博物館)
定員:200名(先着順)
※午後1時から講堂前で整理券配布
参加費:無料(ただし、本展チケットをお持ちの方。半券可)
お問合せ:昆虫研究室 松本

●昆虫観察&ギャラリーツアー

松本吏樹郎学芸員と一緒に、長居植物園で昆虫の観察会を実施。終了後、展示室での解説も行います。
※雨天時は、観察会は中止します

日時:7月14日(日)、8月3日(土) 午前10時～12時
場所:長居植物園、特別展会場
定員:50名(先着順)
※午前9時30分から特別展受付で整理券配布
参加費:無料(ただし、本展チケットをお持ちの方)
お問合せ:昆虫研究室 松本

●講演会「私の昆虫」

特別展の見どころや、たくさんの昆虫を採集できるトラップ「ノムラホイホイ」についても説明します。

日時:8月4日(日) 午後2時～3時30分頃
場所:自然史博物館 講堂
講演者:野村周平(国立科学博物館)
定員:200名(先着順)
※午後1時から講堂前で整理券配布
参加費:無料(ただし、本展チケットをお持ちの方。半券可)
お問合せ:昆虫研究室 松本

Teachers - Museum 通信 2019 No.1

2019/07/

編集・発行:大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23 tel 06-6697-6221 (博物館代表番号)
http://www.mus-nh.city.osaka.jp/ (学校向けページやキッズページも充実しています)
e-mail:tm@mus-nh.city.osaka.jp

※送付先の変更や、メールアドレスの変更などあれば、ご連絡ください。経費削減のため、なるべく通常の通信はEメールで連絡させていただきます。登録時に郵送を希望された方でメールアドレスを取得した場合は上記までご連絡ください。

■特別展「昆虫」を開催します ～今年の夏は“昆虫”してみませんか?～ ■

東京で44万人が来場した特別展「昆虫」が大阪市立自然史博物館にやってきます。

赤や緑、鮮やかな青色や、光によって色々な色に見えるぴかぴかの体。色だけでなく、なぜこのような形をしているのかわからない種類まで。昆虫は、その種類の多さもさることながら、見た目や生態も大変多様な生き物です。

本展では、細部までじっくり観察できるよう2mもの巨大な拡大模型や、数万点に及ぶ昆虫標本を展示します。また、昆虫を見るだけでなく、昆虫学者がどのように昆虫を採り、研究を進めているのかもわかる展示になっています。実際に使われている昆虫採集のための道具やトラップ、採集した後の昆虫標本の作りかたも紹介します。

今回の特別展では、昆虫を知る・学ぶ・採集するなど、昆虫に興味を持って活動することを“昆虫”と名付けています。今年の夏は、特別展「昆虫」を見て、昆虫の観察をしたり採集したりしてみませんか?



▲アカスジキンカメシ



▲カブトムシ



▲ルリモンハナバチ



▲コオイムシ



▲シロミスジ



▲ノコギリクワガタ

■開催概要■

会期:令和元年7月13日(土)～9月29日(日)
休館日:7月16日(火)、22日(月)、29日(月)、8月19日(月)、26日(月)、9月2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)

開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで)

会場:大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール(花と緑と自然の情報センター2階)

観覧料:大人 1,400円(1,200円)、高校生・大学生 800円(600円)、中学生以下・障がい者手帳など持参者(介護者1名を含む) 無料(要証明)

※()内は前売り料金・20人以上の団体料金

※本展チケットで、常設展(大人300円、高大生200円)も入場可能

主催:大阪市立自然史博物館、読売新聞社、関西テレビ

後援:大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会

協賛:住友生命

特別協力:国立科学博物館

協力:九州大学総合研究博物館

H P:https://www.ktv.jp/konchu/

公式Twitter:https://twitter.com/konchuten

▽▲編集後記 ▲▽

7/13から特別展「昆虫」が始まります。昆虫は教員研修でも人気のテーマで、昆虫採集をしてもらうこともあるのですが、みなさん様々な種類をたくさん採ってきてくださいます。昆虫は苦手な方も多いかもしれませんが、そのような方も、研修の終わりの方では触れるようになる方もおり、「苦手意識がなくなりました」というお言葉をいただくこともあります。今回の特別展も、じっくり見てみると昆虫の魅力に気づけるかもしれません。(大江)



■学芸員によるリレーコラム⑥■ 今号は動物研究室の石田 惣 学芸員です。

～オオクビキレガイをさがしています～

自然史博物館では、オオクビキレガイという外来のカタツムリの大阪府下での分布を調べています。オオクビキレガイは地中海沿岸が原産で、1980年代後半に北九州市に移入し、現在では西日本の複数の府県に定着しています。畑や公園など、比較的開けた環境に生息しています。葉物野菜の新芽を食べる農業被害があるほか、他のカタツムリを食べてしまうこともあります。2010年以降、大阪府でも見つかるようになり、分布が拡大傾向にあります。拡大の過程を知ることで、オオクビキレガイの生態がわかり、今後の対策に役立つ可能性があります。見つけたら、ぜひ情報をお寄せください。

・どんなところにいますか？

オカダンゴムシや、チャコウラナメクジとすむ場所が似ています。学校なら植木鉢やプランターの下、落ち葉のたまっているところ、石やブロックの下、散水栓ボックスの中などを探してみてください。

・見分け方は？

図を参考にしてください。最大の特徴は、殻の先端が欠けてなくなっていることです。生まれて間もない頃は欠けていませんが、成長に伴って欠け落ちます。これが名前の由来にもなっています。

・見つけたらどうすればいいですか？

写真を撮って、見つけた場所を書いてメールで送ってください。折り返し、オオクビキレガイかどうかをお答えします。ご承諾のない限り、ご報告いただいた方のお名前を公開することはありません。生息地点の情報は原則としてピンポイントでは公開せず、1km四方程度のメッシュマップ(または同等の情報解像度)で公開します。ただし、公共用地などでの分布情報は公開することがあります。

・情報はこちらまでお送りください:

大阪市立自然史博物館 動物研究室・石田
電子メール:sukumiringo@icloud.comまたはiso@mus-nh.city.osaka.jp
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
電話:06-6697-6221 / ファクス:06-6697-6225

・さらに詳しい情報

似ているカタツムリとの見分け方や、現在の分布状況など、さらに詳しい情報は以下のホームページをごらんください。大阪府の鉄道駅を中心にオオクビキレガイを探す市民参加調査「電車に乗ってオオクビキレガイを探そう」も実施中です。

<https://sites.google.com/site/ookubikiregai/>

※情報募集を呼びかけるチラシ・ポスターを作成しています。配布・掲示にご協力いただける学校がありましたら、ぜひお知らせください。

■8月8日(木)に、教員のための博物館の日2019を実施します■

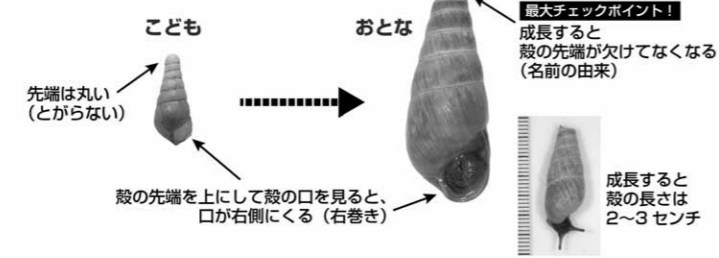
毎年恒例となりました「教員のための博物館の日」実施のお知らせです。

今年も、さまざまな体験型プログラムや解説ツアーを予定しております。ホームセンターなどで手に入る素材を使って行う実習や、博物館の行事の短縮版プログラムは、授業の際の子ども達への伝え方のヒントになるかもしれません。展示室内や植物園の解説ツアーでは、博物館・植物園に来た時だけでなく、学校などの身近な場所でも観察する際にも使えるようなポイントをお伝えします。

また、他の博物館施設の方々による講演や、ブース出展もありますので、この日は一日、是非博物館を楽しんでください。

開催概要・申込方法については、右の行事案内をご覧ください。

オオクビキレガイのみわけ方



▲昨年の「教員のための博物館の日」学芸員と一緒に歩く解説ツアーの様子

■ 行事案内 ■

自然史博物館では様々な行事を開催しています。申込みが不要な行事と必要な行事がありますので、行事情報をチェックしてご参加ください。博物館ホームページ「イベント」メニューからも申込みが簡単にできます。

◎ 申し込み方法

往復はがきか電子メールに、下記の内容を書いて博物館普及係あてに申し込んでください(※切日必着)。

博物館のホームページからも、お申し込みいただけます。

1. 参加希望の行事名
2. 参加者全員の住所・名前・年齢・電話番号
3. 返信連絡先(往復はがきには返信用のあて名)

※定員を超えた場合は抽選することがあります。

抽選結果、集合場所、集合時間、持ち物など、詳しい内容は返信ハガキか電子メールでお知らせします。

◎ 申し込み先

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館 普及係

ホームページ: <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

e-mail: gyouji@mus-nh.city.osaka.jp

■教員のための博物館の日2019■

日 時:8月8日(木) 午前10時～午後5時

場 所:自然史博物館

参加対象:幼稚園・保育所等幼児教育関係者・

小中高等学校等の教員、教職課程を学ぶ

学生、そのほか学校教育関係者

定 員:50名(先着順)※大阪市教育センター研修

受講者40名、大阪府教育センター研修

受講者30名も一緒に参加します。

参加費:無料

お問合せ:自然史博物館 学校と博物館連携担当

電話:06-6697-6221

メール tm@mus-nh.city.osaka.jp

お申込み:必要<締切8月7日(水)>

学校名等所属・名前を書いて電子メール

(tm@mus-nh.city.osaka.jp)でお申込みください。

※プログラムの詳細はHPをご覧ください。

※「教員のための博物館の日2019 in 大阪市立自然史博物館」は、JSPS科研費JP19K01151(研究課題名「新学習指導要領が目指す学びの実現を学校との協働で実践する博物館教育の研究」)を受けて実施します。

■特別行事■

●標本の名前を調べよう

夏休み中に野山や海で採集した動物、昆虫、クモ、植物、キノコ、化石、岩石の標本の名前を、各分野の専門家がお答えします。名前を調べたい標本は、自分で整理して、できるだけ図鑑などで名前を調べ、分からなかったものをお持ちください。標本をお持ちでない方も、是非、見に来てください。土器や石器などの考古学資料は扱いません。

日 時:8月18日(日) 午前10時～12時、午後1時～4時

場 所:自然史博物館 本館

参加費:無料(博物館入館料必要)

お問合せ:昆虫研究室 長田

お申込み:不要

※行事当日は長居公園内で大規模なイベントが行われる予定です。車での来館はご遠慮ください。

※大量の標本を持ち込まれる予定の方は、事前に学芸員までご相談ください。

■室内実習■

博物館に備え付けの研究機器を活用して、分析的な観察・実習をおこないます。

●ホネ標本の作りかた(大人向け)

自分で骨格標本を作れるようになります。ホネの標本の作り方を解説した上で、鳥の頭の骨格標本を作ってみます。今回はエミューの頭の予定。

日 時:9月23日(月・祝) 午前10時～午後4時頃

場 所:自然史博物館 実習室

定 員:24名(定員を超えた場合は抽選)

参加費:材料費などを含ま1500円程度を予定

お問合せ:動物研究室 和田

お申込み:必要<締切9月14日(土)>